

栃木県知事 福田富一様

2014年7月30日
安保破棄栃木県実行委員会
栃木県平和委員会
日本共産党栃木県委員会

米軍MV22オスプレイ機ならびに自衛隊オスプレイ機の 栃木県への飛来、訓練、配備を認めないよう求める申し入れ

安倍政権は、「オール沖縄」の総意を踏みにじって、老朽化した米軍普天間基地の替わりに、名護市辺野古の新基地建設を強行しようとしています。そのうえ「沖縄の負担軽減」の名で、米軍普天間基地のMV22オスプレイ（垂直離着陸輸送機）の訓練を沖縄県外でも行おうとしています。オスプレイは過去何度も墜落事故を起こした「欠陥機」と指摘されており、危険なオスプレイを沖縄から撤収させるのは当然ですが、全国どこでも受け入れるべきではありません。

ところが、群馬県榛東村が米軍オスプレイの訓練受け入れを表明し、陸上自衛隊相馬が原駐屯地が訓練候補地リストに挙げられました。相馬が原駐屯地は、北宇都宮駐屯地に配備されている第12ヘリコプター隊の司令部があり、CH-47型ヘリなどが北宇都宮駐屯地に飛来しています。相馬が原駐屯地で米軍オスプレイの訓練が行われれば、北宇都宮駐屯地にも飛来する可能性が大了。栃木県は、県民のいのちと安全を守る立場から、防衛省・陸上自衛隊にたいし「栃木県内への飛来お断り」の明確な意思表示を行うべきです。

また、防衛省は2015年度から陸上自衛隊に米国製オスプレイを17機導入する計画で、現在佐賀空港への配備を佐賀県に要請しています。陸自オスプレイ機についても栃木県への飛来、訓練、配備いずれも断じて容認できません。

私たちは米軍C130輸送機の県内での飛行訓練に反対し、連携して監視活動を続けてきました。危険なオスプレイの日本配備は、米軍であれ、自衛隊であれ撤回させるべきとの立場から、今後はオスプレイ機についても、飛来・訓練・配備を許さない県民的運動を広げていく考えです。ついては、下記のとおり申し入れます。

記

1. 防衛省・陸上自衛隊にたいし、米軍オスプレイ機の栃木県への飛来は認めないとの明確な意思表示を行うこと。
2. 陸上自衛隊オスプレイ機の栃木県への飛来、訓練、配備いずれも認めないこと。

以上